

第5回みちづくりワークショップ（平成26年2月6日）

●「今後の市民参加と維持管理についてのアイデア」についての主な意見・提案

活動アイデア：以下の3つの項目についての市民参加アイデアの意見・提案が出されました。

維持管理関連

- 美化活動：教育的な視点から子供の参加も大切。ゴミ箱の設置やゴミ拾い、植栽樹の有効利用等。
- 仮設花壇：花壇を作れると良い。花ではなくクローバー等の葉も良い。
- ベンチ：座れるところが足りない。歴史資源付近等に少し座って休憩できる機能があると良い。
- 道路取得用地の暫定利用：用地取得済みの土地を有効活用したい。
- 仮囲い・フェンス：工事中も良い印象となるように、雰囲気のある仮囲いが良い。



みちづくり関連

- 辻等の詳細検討：保土ヶ谷橋辻を使いやすくしたい。
- 情報発信：様々なテーマの情報を気軽に扱えるツールで発信する。
- 舗装：町割を町割石で残していくことが望ましい。
- 街並み誘導：沿道建物の外観の配慮事項を考えたい。



イベント関連活動

- 絵画コンクール：すぐに出来そう。年に何回かの展示も良い。
- 歩道°インテイク：まち普請制度を活用してはどうか。
- 学校等との連携：小学校課外活動と連携した活動ができないか。
- ロゴシール貼り：サインへのロゴシール貼りをやりたい。



保土ヶ谷宿“ほっと”なお話（その6）「ハマロード・サポーター」

「ハマロード・サポーター」は、地域のボランティア団体と土木事務所が協力して、身近な道路の美化・清掃活動を行う制度です。サポーターとして参加いただくポイントは、①営利を目的としない、概ね10人以上の団体で、②横浜市管理の道路で概ね100m以上の範囲を対象に、③道路の清掃や美化活動等自主的に活動内容を決めます。原則、月1回以上活動することとなっています。保土ヶ谷区内では現在、19団体がハマロード・サポーターとして活躍中です。



活動団体による活動の様子

今年度検討内容と今後のスケジュール（予定）

	H26年度	H27年度以降
市民参加によるみちづくり等	→	→
道路設計等	→	→

※上記スケジュールはあくまで予定であり、決定したものではありません。

発行：横浜市道路局建設課 担当：周治、松本、雨宮
 問合せ先：（電話番号）045-671-3542 （FAX）045-663-8993
 ホームページ：道路局建設課（一般国道1号（保土ヶ谷橋工区））
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kensetsu/r1/hodogayabashi/>
 編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区市政推進課

みちづくりの整備計画（案）を取りまとめました。

◆みちづくりの整備計画（案）について◆

平成25年6月から全5回に及び市民参加によるワークショップを開催させて頂き、様々なテーマを取り上げて行った意見交換等を踏まえ、「みちづくりの整備計画（案）」（以下、整備計画）を取りまとめました。

整備計画は平成24年3月に策定した整備方針（保土ヶ谷宿みちづくり通信第2号参照）を具体化し、東海道の歴史的資源を活かしたみちづくりを推進するための計画です。

整備計画では、一般国道1号が市民に愛される良質な都市資産として未長く将来世代に引き継いでいけるよう、東海道の歴史を継承する道路整備、回遊起点となる辻やサイン等の整備、拠点形成や駅伝を活用した情報発信・PR、地域参加によるみちづくりと維持管理についての基本的内容を示しています。（整備計画（案）～概要版～参照）

なお、これまでに5回のワークショップを開催してきましたので、ダイジェストで活動を報告させていただきます。ワークショップやアンケート等、皆様にご協力いただきありがとうございました。今後も情報発信等を行いながら、東海道を想う皆様と共にみちづくりを進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◆ワークショップの活動内容

6月21日（金）	第1回	主旨・進め方等の説明と植栽計画、会の名称について
7月6日（土）	第2回	サイン見て歩き（まちあるき）
9月30日（月）	第3回	サイン配置計画とサインデザインイメージ
11月13日（水）	第4回	サインデザイン案、整備計画たたき台、市民参加について
2月6日（木）	第5回	市民参加や整備計画（案）について



• グループ毎に発表しました。第1回から第5回まで各回20名弱の方々との意見交換を行って参りました。

みちづくりワークショップで出された主な意見・提案

第1回～第5回ワークショップで、様々なテーマで意見交換をしました。各回の意見・提案（第1回～第4回の主な意見・提案は「保土ヶ谷宿みちづくり通信第4号及び5号参照」）を受け、整備計画（案）に反映しています。

第1回みちづくりワークショップ（平成25年6月21日）

●植栽計画（街路樹）についての主な意見・提案、会の名称について

植栽計画（街路樹）について：選定の考え方、維持管理等の課題について意見・提案が出され、その後の沿道住民アンケートも踏まえ、以下の3つの大項目による「樹種選定の考え方」としています。

- 1 歴史的なみちの雰囲気づくり
- 2 街路樹による季節や潤いを感じる道路づくり
- 3 イベントや地域活動のしやすさ

（以下、主な意見・提案）

- ・街路樹の大事な役割と機能：日陰形成等の実用性が重要で、街路樹による景観づくり、防火帯になる樹木がよい。
- ・季節や潤いを感じるみちづくり：保土ヶ谷の気候に合い、季節感の演出やシンボルとなる樹木を設置したい。
- ・沿道住民・歩行者等への配慮：沿道の住民に配慮し、歩行者・自転車・自動車それぞれの視点を考慮する。
- ・イベントや地域活動のしやすい街路樹：歩行者に優しい街路樹、落葉樹の清掃等美化活動が重要になる。
- ・宿場らしい歴史的なみちの雰囲気づくり：日本固有の樹種が望ましい。

会の名称について

「宿場よりみち会」に決定！



第2回みちづくりワークショップ（平成25年7月6日）

●サイン見て歩き（まちあるき）

サイン配置について：ディスカッションの前に3グループでサイン見て歩きを行い、保土ヶ谷橋工区及び周辺のサイン配置の現況や歴史的資源等を確認しました。この回の様々な意見・提案を受け、以下の5つの項目による「サイン配置の考え方」としています。

- 1 交差点等の安全性に配慮した配置とする。
- 2 利用する人が分かりやすい配置とする。
- 3 施設と案内の一体性が高まるよう設置箇所を検討する。
- 4 歩道内については、低木植栽柵内、又はその隣接地に配置し集約を図る。
- 5 保土ヶ谷の歴史等を紹介する新たなサイン設置を道路整備等にあわせて検討する。

（以下、主な意見・提案）

- ・表記の工夫について：元号と西暦の併記や英語表記、QRコードによる解説があっても良い。また、みちづくりのシンボルマークやロゴの記載があるのもよい。
- ・重要で残したいサイン：保土ヶ谷宿400倶楽部が作成した銅板サイン等残していきたい。
- ・新たに欲しいサイン：歴史的資源の解説サインや施設表示サインがあるとよい。



イメージ模型とサインの種類紹介

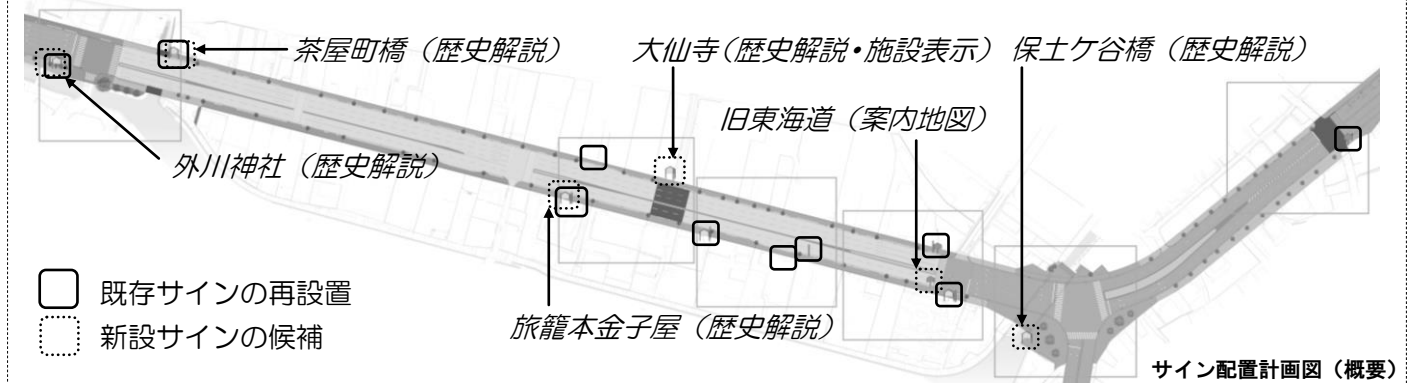


サイン見て歩きの様子

第3回みちづくりワークショップ（平成25年9月30日）

●サイン配置計画とサインデザインイメージ

サイン配置計画について：第2回のサイン見て歩きによる意見交換を踏まえ、既存サインの再設置が必要になる箇所や新設サインの候補箇所等を整理し、下記サイン配置計画を作成しました。



サインデザインの考え方について：サインデザインのイメージについて意見交換を行い、イメージキーワードを抽出し、「サインデザインの考え方」を以下の2点について、まとめました。

- 1 サインの形態等について
- 2 サインの盤面表示について

（以下、主な意見・提案）

- ・考え方：「見やすい、読みやすい、見つけやすい」の3原則。
- ・盤面表記：今いる場所の明示とシンプルな記載。
- ・イメージキーワード：保土ヶ谷宿らしさや風情があり、歴史を感じる、シンプルで景観になじむデザインが良い。

第4回みちづくりワークショップ（平成25年11月13日）

●サインデザイン案、市民参加、ロゴマークについて

サインデザインについて：第3回のデザインイメージの意見交換を踏まえサインデザイン案を検討し、下記2案のうち、いずれかを採用していくことを基本としていきます。



（以下、主な意見・提案）

- ・色彩・デザイン：フレームを焦げ茶に揃えると戸塚宿とも揃って良い。
- ・維持管理：汚れにくくて壊れにくいものが良い。
- ・盤面表記：日本橋からの距離の記載、英語表記、戸塚宿や神奈川宿方面の記載があるとよい。

ロゴマークについて

右記デザインに決定！（みちづくり通信表紙にも活用）

